



# 至誠・致知・鍛錬

甲斐市立双葉中学校  
 学校だより  
 発行 校長 中村 忍 号  
 平成29年度 第1号  
 4月10日発行



## よろしくお願ひします

わたしは、本年度より校長として赴任いたしました 中村 忍 と申します。歴史と伝統のある双葉中学校に勤務できて、非常にうれしい反面、その責任の重大さを噛みしめているところです。

これからの教育は、加速度的に複雑に変化する社会を生き抜く子どもたちを育てなければなりません。今学んでいる知識から、友だちと協働して、試行錯誤しながら新たな問題を発見・解決し、新しい価値を創造する力を付けることが必要です。

そのためには、学校、保護者、地域の方々の連携が不可欠です。授業が家庭学習へと有機的に結び付き、地域の教育力が子どもたちの創造力を高めていく、そんな双葉中学校にしていきたいと思ひます。ぜひとも、保護者の皆様、地域の皆様、お力をお貸しいただき、未来を生き抜く子どもたちの育成にお力添えをお願いいたします。職員・生徒は、「チーム双葉中」として、力を合わせて、一つひとつ壁を乗り越えていく所存です。どうかご支援・ご協力をよろしくお願ひします。

## 始業式を行いました

4月6日（木）に始業式を行いました。生徒には、「活気のある双葉中をつくっていきましょう！」と話をしました。そのために、三つのお願いをしました。

一つは、「より、部活動を充実していきましょう！」です。部活動を通して、体力・精神力・能力をきたえて強くしてほしいと思ひます。そして、やるからには、頂点を目指してほしいと思ひます。

二つ目は、「学び合いの楽しい学校にいきましょう！」です。友だちと協力して、問題を解決していく楽しさをたくさん経験してほしいと思ひます。そのためには、教師の授業等の改善も不可欠となります。

最後は「先輩・後輩の大切さ学ぶ」です。尊敬される先輩であり、優しく導く先輩であってほしいと思ひます。かわすあいさつは自然と、後輩からの尊敬のあいさつであり、先輩からの慈しみのあいさつになると思ひます。

双葉中学校から、生徒の活気のある声が、緑の大地に響きわたることを願っています。

## 入学式を行いました

4月7日（金）に、希望に満ちあふれた153名の生徒が本校に入学しました。校庭の桜も新入生を迎えるために丁度咲き始め、市、教育委員会、市議会、地域の方々、PTA並びに保護者の皆様に参列していただき、厳粛な中にも希望に満ちあふれた入学式を行うことができました。

新入生はとても緊張している様子でしたが、新入生の呼名では、一人一人が大きな声で返事をしていました。中学校生活へのやる気と意欲を強く感じるようになりました。

新入生には、双葉中生として学校生活を送るにあたって、三つのお願いをしました。

一つ目は「真心を尽くす」ということです。

まだ偶然出会っただけの関係で、少しよそよそしい感じがするかもしれません。しかし、やがて授業や部活動、学校行事などが始まり、共に汗を流し、共に笑い、共に涙を流し、「真心をつくす」ことで、友達・先輩・後輩と呼べる人間関係ができてくることでしょう。

人間は一人では生きていけません。人間関係を築く礎となる体験の場、それが、双葉中です。

二つ目は「力を合わせて知識を極める」ということです。

中学校では、「教えてもらう」から「自ら学ぶ・共に学びあう」へと変わらなければなりません。授業でも家庭学習でも、与えられるのを待っているのではなく、友だちと協力して、自ら課題を、自ら答えを見つけてください。

三つ目は「鍛える」ということです。

暖かい地域で育った樹木は、恵まれすぎて、木に締りがなく、木材としての評価は低いとされます。

一方、日光が乏しく、厳しい寒さに直面する北国の樹木は、木が締り、良質の木材に成長します。

人もまた同様です。難しいこと、苦しいことに出会ったら、自分を鍛えるチャンス、と前向きに考えて、自分を鍛えてください。大きな人間に成長してください。



## 平成29年度 教職員 よろしくお願ひします

42名の教職員が生徒と共に、「チーム双葉中」として取り組んで参ります。

学校住所：〒400-0106 甲斐市岩森1337

電話：0551-28-2019 FAX：0551-28-5689

ホームページ <http://www.city-kai.ed.jp/fchu/> も併せてご覧ください。

(個人情報保護の観点から非表示部分があります)

No.	分 掌	氏 名	教 科	部 活
1		中 村		
2		高 橋		
3		雨 宮		
4		折 居		
5		早 川		
6		志 村		
7		石 原		
8		横 内		
9		内 藤		
10		守 屋		
11		末 木		
12		猪 股		
13		マイケル		
14		中 村		
15		小 澤		
16		瓜 生		
17		鷹 野		
18		田 所		
19		飯 室		
20		中 沢		
21		中 田		
22		阿 部		
23		志 村		
24		横 森		
25		赤 尾		
26		古 屋		
27		荻 野		
28		川 上		
29		芦 沢		
30		並 木		
31		石 原		
32		清 水		
33		塚 原		
34		内 田		
35		長 田		
36		中 島		
37		青 柳		
38		長 田		
39		鈴 木		
40		渡 邊		
41		中 澤		
42		樋 口		

### 学校たよりの発行に寄せて

学校たよりのタイトルを『致誠・致知・鍛錬』としました。少し硬い印象がありますが、ご了承ください。この三つの言葉については以下のとおりと考えています。

【至誠】…〔真心を尽くす〕本校の校訓です。

【致知】…〔知識を極める〕

【鍛錬】…〔心身を強く鍛える〕

ご一読いただければ幸いです。